

Fidelity Insights

2008年11月4日

フィデリティ・インサイト 欧米株式の下落局面

このところの世界株式市場の下落は、米国のサブプライムローン問題をきっかけとして欧米の金融システム不安が拡大したことが背景です。今回は、過去に起きた欧米株式の調整局面をご説明します。

過去の欧米株式の調整局面（1969年12月末～2008年10月末）

欧米株式が同時に年間20%以上調整した局面と1年後の騰落率
(全て月末値を使用、円ベース)

期間	1年間の騰落率					1年後の騰落率				
	米国株	欧州株	(参考) 日本株	(参考) アジア・ パシフィック株	(参考) 世界株	米国株	欧州株	(参考) 日本株	(参考) アジア・ パシフィック株	(参考) 世界株
1 1974年9月末	-32.8% ↓	-31.0% ↓	-21.2% ↓	-46.5% ↓	-30.7% ↓	40.0% ↑	36.6% ↑	5.1% ↑	60.1% ↑	32.5% ↑
2 1974年10月末	-20.4% ↓	-29.0% ↓	-26.6% ↓	-41.0% ↓	-24.0% ↓	25.2% ↑	39.3% ↑	25.2% ↑	38.8% ↑	27.3% ↑
3 1987年12月末	-21.1% ↓	-20.9% ↓	8.8% ↑	-20.8% ↓	-11.3% ↓	19.4% ↑	19.9% ↑	39.7% ↑	34.5% ↑	27.7% ↑
4 1988年1月末	-20.7% ↓	-20.7% ↓	7.8% ↑	-16.8% ↓	-11.2% ↓	21.6% ↑	27.8% ↑	31.2% ↑	48.1% ↑	27.5% ↑
5 1988年7月末	-22.5% ↓	-23.5% ↓	10.8% ↑	-20.2% ↓	-12.1% ↓	36.3% ↑	35.8% ↑	18.8% ↑	9.6% ↑	27.4% ↑
6 1988年8月末	-21.7% ↓	-21.3% ↓	-1.0% ↓	-22.7% ↓	-14.8% ↓	46.8% ↑	44.0% ↑	22.6% ↑	23.9% ↑	34.9% ↑
7 1988年9月末	-20.2% ↓	-21.2% ↓	2.3% ↑	-30.1% ↓	-13.5% ↓	37.7% ↑	36.2% ↑	22.6% ↑	27.0% ↑	30.4% ↑
8 2002年7月末	-27.4% ↓	-21.3% ↓	-19.6% ↓	-7.8% ↓	-24.3% ↓	11.3% ↑	10.0% ↑	-3.7% ↓	17.1% ↑	10.0% ↑
9 2002年12月末	-30.0% ↓	-25.8% ↓	-18.6% ↓	-14.7% ↓	-27.1% ↓	16.6% ↑	25.7% ↑	23.0% ↑	32.8% ↑	20.8% ↑
10 2003年1月末	-31.4% ↓	-26.2% ↓	-16.1% ↓	-15.9% ↓	-27.9% ↓	18.9% ↑	30.4% ↑	27.5% ↑	31.9% ↑	23.7% ↑
11 2003年2月末	-32.1% ↓	-29.6% ↓	-20.2% ↓	-17.0% ↓	-29.5% ↓	27.9% ↑	45.3% ↑	32.3% ↑	45.3% ↑	34.1% ↑
12 2003年3月末	-33.1% ↓	-33.4% ↓	-27.0% ↓	-18.6% ↓	-31.9% ↓	18.4% ↑	35.6% ↑	49.1% ↑	35.9% ↑	26.8% ↑
13 2008年6月末	-24.6% ↓	-23.4% ↓	-24.4% ↓	-15.0% ↓	-22.9% ↓	?	?	?	?	?
14 2008年9月末	-27.8% ↓	-35.9% ↓	-32.5% ↓	-39.5% ↓	-31.3% ↓	?	?	?	?	?
15 2008年10月末	-45.6% ↓	-55.4% ↓	-46.6% ↓	-61.1% ↓	-50.1% ↓	?	?	?	?	?

注) MSCI HPおよびRimesよりフィデリティ投信作成 1969年12月末～2008年10月末。米国株、欧州株、日本株、アジア・パシフィック株、世界株は各々MSCI米国、欧州、日本、パシフィック(除く日本)、ワールドインデックス(グロス) 円ベース

- ⇒ 1970年以降の欧米株式の値動きをみると、米国、欧州の株式が同時に年間 20%以上調整した局面は、今年を含めて5回ありました。
- ⇒ 昨年まで過去4回のいずれの調整局面でも、欧米株式の調整1年後の騰落率は2桁以上のプラスとなっています。また日本株、アジア・パシフィック株、世界株など他の市場の株価もほぼ全ての期間で上昇しています。
- ⇒ なお調整後1年の騰落率平均は世界株で26.9%など、全ての地域で20%を超えています。

調整局面 1年後の騰落率(月末ベース)の平均

1年後の平均騰落率				
米国株	欧州株	日本株	パシフィック株	世界株
26.7% ↑	32.2% ↑	24.4% ↑	33.8% ↑	26.9% ↑

米国、欧州の株式(全て円ベース)が1年間で20%以上調整した局面。



Fidelity Insights

ご注意点

当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。

当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

FIL LimitedおよびFMR LLC とそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。

当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。

投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。

投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- ・申込時に直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限 3.675%(消費税等相当額抜き3.5%)
- ・換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金 上限 1%
- ・投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限 年率2.0265%(消費税等相当額抜き1.93%)
- ・その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

フィデリティ投信株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第388号

加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

KI 081031-2